

村山ひでき

市政レポート

ひとをつなぐ まちをつくる



平成30年度 新春号(平成29年度市政報告号)

- 村山ひでき民進党を離党し無所属へ(市議会所属会派は変わらず)
- 12月議会が閉会。一般会計補正予算(第5回)は賛成16:反対7で可決
- 平成29年度の市議会を振り返って(3月市議選・6月議会・9月議会等)
- 全国でも珍しい「議員間討議」を小金井市議会が初めて開催(12月20日)

2018新春 小金井市は市制施工60周年を迎えます

—村山ひでき民進党を離党し無所属へ— 市議会所属会派は変更なし



武蔵小金井駅南口にて新年のご挨拶(2018年1月4日)

新しい年を迎えました。皆様にとって希望に満ちた一年となるようご祈念申し上げます。

さて、突然の衆議院の解散総選挙を受け止めきれず、事実上の解党・分裂状態となっていた民進党に対し、村山ひでき、鈴木成夫、岸田正義の3人は離党届を提出しました。

この間、①民進党に留まる、②立憲民主党に入党、③希望の党に入党、④無所属になって活動、という4つの選択肢がありましたが、村山ひできは、**小金井市政を第一に考えるならば政党色はむしろ不要と判断し、あえて無所属の市議会議員となることを決断いたしました。**

尚、立憲民主党に入党された鈴木成夫議員、岸田正義議員と統一会派(近日中に会派名を変更予定)を組んでいることに変更はないですし、民進党時代からの人間関係を大事にしつつ政治活動を行っていくことにも何ら変化はありませんので、今後ご指導よろしくお願い申し上げます。

12月議会が閉会:全7議案が賛成多数で可決

一般会計補正予算(第5回)の本会議採決結果※1

賛否	会派略称※2	所属議員名
賛成 16	民進党③ ※3	村山ひでき・鈴木成夫・岸田正義
	公明党④	宮下誠・紀由紀子・小林正樹・渡辺ふき子
	改革連合①	篠原ひろし
	こがあす①	沖浦あつし
	市民会議①	斎藤康夫
	情報公開①	渡辺大三
	生活者ネット①	田頭祐子
	自民党・信頼④	遠藤百合子・湯沢綾子・吹春やすたか・河野律子
反対 7	共産党④	水上洋志・板倉真也・森戸洋子・たゆ久貴
	緑・市民自治②	片山薫・坂井えつ子
	こがおも①	白井亨

12月22日(金)に小金井市議会の平成29年第4回定例会(12月議会)が閉会しました。追加送付された旧福祉会館跡地に係る議案第70号「地上権設定契約の合意解除に係る和解について」も含む全7議案が全て賛成多数で可決されました。

「平成29年度一般会計補正予算(第5回)」は11億2675万8000円が計上されており、予算特別委員会では来年に施政60周年を迎える小金井市の「市歌」を制定する事業への質疑が集中し、本会議では「市歌」制定は不要とする議員が関連予算部分を削除した「組替え動議」を提出しましたが否決となり、残った原案に対し村山ひできは賛成。今後は「市歌」選定委員会を設置したうえで市民の意見を公募し、広く親しまれる活用方法を考えつつ小金井市のイメージアップを図っていただきたいと思います。

※1=全議員24名のうち議長は裁決には加わりません
 ※2=マル数字は所属している議員数です
 ※3=近日中に会派名称を変更予定です

2017(平成29)年を振り返って…

3月 小金井市議会議員選挙にて7位(1337票)で当選!

第17回小金井市議会議員選挙(3月19日告示:定数24)は26日に投開票が行われ、村山ひできは1337票を獲得し議会へ復帰することになりました。4月10日には、鈴木成夫市議、岸田正義市議とともに「小金井市議会民進党」として会派結成届を提出。5日間を要した議会人事を協議する会派代表者会議の後の4月19日に第1回市議会臨時会が開催され、村山ひできは復帰早々で常任委員会のひとつである建設環境委員会の委員長に就任することになりました。



復帰の「決意を語る会」には、村山を応援する多くの友人知人が集まった



貫井住宅の団地の中で政策を訴える



深夜未明の開票速報。支えてくれたボランティアスタッフと一緒に

6月 第2回定例会にて行財政改革特別委員会の設置に反対討論

市議会改選後、最初の定例会市議会が6月2日から開催されました。6月12日に小金井市議会は「庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会」と「行財政改革推進調査特別委員会」を設置することになったのですが、このうち「行財政改革推進調査特別委員会」の設置に対し、村山ひできはより効率的に行財政改革を進めさせるために反対討論を行いました。

村山ひできの一般質問

●「名勝 小金井桜」の復活 ●「食育の展開」

「名勝 小金井桜」の復活事業はモデル区間と合わせて新小金井橋～梶野橋の約1kmの小金井桜復活事業が完了しています。

残された区間、特に小金井橋～新小金井橋間についての整備方針を確認したところ、本年度の開始を目指し今後3年間で整備する計画を東京都と協議中であるとの力強い答弁を議会で初めて引き出すことになりました。

また、「食育」の積極的な展開については、全国でも珍しい議員提案による「食育推進基本条例」を有する小金井市は、教育機関との連携を強化し学校給食における地場野菜の拡充を図るべきであり、そのためにも「食育コーディネータ」を積極的に活用してほしいと主張しました。



反対討論の内容(抜粋)

反対する理由は、行財政改革の内容の検証、進行チェックが特別委員会でなければできないとする理由が不明確であり、今の段階で特別委員会を設置することは、かえって行革の進行を妨げるものになると考えたからです。

当然、私は積極的に行革を進めるべきだという考えですが、今現在、小金井市は今年4月に策定された「行財政改革プラン2020」を有しており、これからは総論的な議論を特別委員会にて議論するよりも、むしろ3つの常任委員会の中で行革について議論したほうが効率よく重要課題を質疑できるはずです。

このまま特別委員会が設置された場合に予想されるのは、各常任委員会で繰り返された行革についての質疑が、わずか数日で、質問する委員が変わっただけで、今度は特別委員会で再び質疑され、同じ答弁が繰り返されるという事態です。

特別委員会の開会中は、議員(委員)からの質疑に対する答弁体制を整えるために、市長をはじめとする理事者、行政部局、担当者は委員会室に座っていきなくてはなりません。つまり、行政が本来であれば市民へのサービス提供に使うことができる時間を議会に使うということであり、ならば、より質の高い議会運営を考えるべきです。

議会での議論は重要ですが、同じ議論が繰り返される事態は避ける効率的な議会こそ市民が求めているはずと意見表明し反対します。

9月 第3回定例議会にて付帯決議の取りまとめ&決算特別委員会の委員長に



村山ひできの一般質問

- 市制施行60周年記念事業
- 投票率アップの施策

2018年10月1日に小金井市が市制60周年を迎えるにあたり、市民と行政が一体となって取り組む記念事業の開催を求めました。特に、市民提案による地域活性化、昨年度から始まった市民協働提案事業の拡大と、功労者表彰、名誉市民の選定も進めてほしいと要望しました。

投票率アップのための施策の拡充として、2017年から東小金井マロンホールでの期日前投票が可能になりましたが、さらに市内の大型商業施設での期日前投票所の設置を求めました。また、青少年への選挙啓発の一環として高校生や大学生の選挙関連事務への参加を検討するよう主張しました。

8月31日から始まった第3回定例市議会は上程議案の採決後に、決算特別委員会が続けて開催されるため長い議会となりました。

上程された一般会計補正予算(第2回)11億5083万6000円について、9月14日の予算特別委員会で最も質疑が集中したのが、「市役所第2庁舎801会議室の床タイルカーペット修繕費」や「汚れが目立つイスや老朽化した長机を取り換えるための備品購入費」でした。この部分の予算を削除する修正案が共産党から提出され、自民党・信頼と情報公開こがねの議員が賛成することで賛成6:反対5:退席1で修正案が可決されていました。

村山ひできは、この予算特別委員会での質疑を通じて指摘された意見を組み込んだ付帯決議をつけることで原案に賛成していただくことを提案し各会派と調整に入りました。

その結果、予算特別委員会では、共産党の修正案に賛成していた「自民党・信頼」が9月25日の本会議では原案賛成に変更したことで、賛成18:反対0:退席5で賛成多数で可決となりました。

通常、予算特別委員会での採決態度が変更となることは非常に珍しいのですが、より多くの議員の賛同が得られたことは素直に感謝したいと思います。

27日からは決算特別委員会。決算特別委員会とは、小金井市議会の場合、議長を除く23名の議員により構成され、今回は村山ひできが委員長に選出されていました。他市では、11月くらいに決算委員会を開催することが多いのですが、小金井市議会では議会から出された意見や要望を行政側が直ちに予算編成に活かせるように、9月定例議会と連続して行うことで開催時期を早めていることが特長です。小金井市が行う全事業について幅広く審査を行うということで、会議時間が非常に長くなる傾向があり、深夜議会となることも多く、効率的な議事を行うべく平成27年から会議日程4日間を5日間に1日多くし開催するようになりました。ちなみに5日間開催となった初めての平成27年の会議時間合計は40時間2分、平成28年は46時間30分、今回は37時間26分でした。

10月 平成30年度予算編成に対する要望書を西岡市長に提出



10月25日、村山ひできが所属する小金井市議会民進党は西岡真一郎市長へ全154項目にわたる「平成30年度予算編成に対する要望書」を提出いたしました。

例年、秋になると市役所庁内では来年度の本予算を編成する作業が本格化します。小金井市議会民進党も、日頃から市議会でも主張してきた提案や意見を予算に反映してもらうために要望書にまとめました。詳しくは、村山ホームページ<http://www.murayama.tv>をご覧ください。

12月 第4回定例議会(1ページ&4ページ参照)

12月1日から22日まで開会された第4回定例会については別頁をご参照ください。ここでは12月議会にて行った一般質問の内容を報告させていただきます。

村山ひできの一般質問

- 大学などの教育関連機関との連携強化で地域社会の発展を

大学などの教育施設が多く文教都市ともいわれる小金井市は、この恵まれた環境を活かして教育関連施設との連携協力が進んでおり、この2年くらいで、東京学芸大学、東京農工大学、亜細亜大学、武蔵野大学、総合学院テクノスカレッジと包括連携協定を結んでいます。

この協定を締結したことで何ができるのかを確認し新たな施策も提案させていただきました。具体的な提案として、地域イベントへの学生参加の工夫、市役所での職場体験やインターンシップの受け入れ、大学生による選挙関連事務への参加検討、大学図書館や体育施設への市民利用などを提案させていただきました。結果、大学生の選挙関連事務への参加も進め、テクノスカレッジの体育施設を市民へ開放できるよう協議中との答弁を引き出しました。

いわゆる新福社会館建設計画案に対し初の「議員間討議」

小金井市新福社会館建設基本計画(案)に対する会派意見(抜粋)

1. 福祉総合相談口(庁内に設置)

現時点では設置場所を限定せず、本来担うべき役割を議論し、窓口機能の精査をすることが必要。しかし福祉の総合課題に対応する包括的相談支援体制を構築し地域共生社会を実現するためには福社会館に窓口を設けることが適当。

2. 公民館本館

従来の公民館が担ってきた「学びの場」の機能の重要性は言うまでもないが、大学進学率が約7割近くとなり、インターネットの普及などによる情報化・国際化が進む現代において、公的機関が教養教育という社会教育の在り方が問われており、今後は自立した市民が主体的に学ぶ生涯学習を進めていくべき。これからの社会教育・生涯学習は公民館といった社会教育のための専用施設に留まらず、社会全体における学習機会の確保と拡大という視点が必要である。仮称新福社会館に公民館機能を導入する必要はない。今後の社会教育と生涯学習の在り方の整理を進め、新たな時代に相応しい持続可能な生涯学習システムを早急に構築すべきである。

3. 小金井悠友クラブ連合会事務局

新福社会館に悠友クラブ連合会事務局機能は導入すべき。ただし施設の総量抑制の観点に立ち床面積を約3,500㎡に納める努力はすべき。

4. 福祉共同作業所

設置場所を検討する大前提として、施設利用者のご家族の理解を求めることが最も重要。現在の設置場所については平成31年9月の契約更新に向けての現在の場所での継続使用のための努力も必要と考えている。

新福社会館建設計画への市議会意見を集約させようと初の試みとなる「議員討議」が開催されました。

通常は市議会議員が市長など行政部局へ質問するのに対し、議員だけで質問も答弁も行うことで自由闊達にお互いの主張を確認し、認識を深めることができるのが「議員討議」の特長です。

市議会予備日の12月20日13:30くらいから17:30くらいまでの約4時間、各会派がいわゆる新福社会館へ導入すべき機能について議論をしました。

村山ひできの会派意見は左記の通りですのでご高覧ください。

また、限られた審議時間の中で濃密な議論をされ、(仮称)小金井市新福社会館建設基本計画(案)の策定をされた市民検討委員会の皆様に敬意と感謝の念を申し上げます。

村山ひでき 市政報告会

日時

2018年 2月18日(日)

開会 14:00 (受付 13:30)

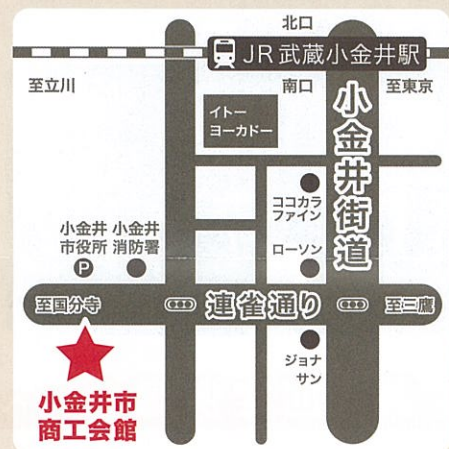
会場

小金井市商工会館2階 大会議室 (小金井市前原町3-3-25)

会費

300円 (資料代として)

日頃の活動報告を兼ねました「市政報告会」を開催させていただきます。
ご不明な点がございましたら電話042-386-5543までお問い合わせください。



村山ひでき

【プロフィール】

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部 卒業
～衆議院議員(岩國哲人・城島正光)秘書
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選
- 2013年 落選
～(株)Zエム東京に入社社員として勤務
- 2016年 復帰を決意し(株)Zエムを退職
- 2017年 再び小金井市議会へ
現在、建設環境委員会の委員長を務める

【主な地域活動】

- 小金井阿波おどり振興協議会 専務理事
- 小金井薪能 理事・警備委員長
- 小金井市献血推進協議会 事務局長
- 小金井市トライアスロン連合 事務局長
- 子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局 名勝 小金井桜の会 会員
- 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
- 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
- はげの自然を大切にす会 会員
- 東京小金井ロータリークラブ 会員

村山ひでき事務所

〒184-0004 小金井市本町6-13-17
サンライズ武蔵小金井702

TEL 042-386-5543

FAX 042-386-5560

携帯 090-3428-2715

Eメール hideki@murayama.tv

WEBサイト <http://www.murayama.tv>

Twitter @Murayama_Hideki

Facebook <https://www.facebook.com/hideki.murayama.52>